

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	三ヶ島菫子資料室運営事業	所管	教育委員会教育総務部 社会教育課
			TEL 2998-9242

事業の目的 (何の為に 行うか)	明治・大正期に活躍した郷土出身の歌人・三ヶ島菫子の文学活動や生活、時代背景などを広く伝え、市民が先人への理解を深めるとともに、ふるさと所沢を愛する心を育てることを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	519	人

活動の内容	(何を したか)	1 三ヶ島菫子資料室運営協議会(年2回)を開催し、年度内の活動について協議 2 毎年4月・9月に三ヶ島菫子資料室だより「われもこう」を発行 3 9月に講演会を開催 4 定期的な資料点検や展示替え											
		活動実績	項目名	資料室入場者数 (来場簿記入者)	350	-----	項目名	講演会来場者数	80	-----	項目名	冊子頒布の収入	44500
				単位	人			単位	人			単位	円

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	228	228	4,173	12.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用者数	資料室・講演会来場者数と冊子購入者	600	519	86.5
			単位	単位	単位
			人	人	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120300	画	2998-9242
事業コード	三ヶ島霞子資料室運営事業		教育委員会教育総務部 社会教育課	グループ	博物館設置推進担当	
開始年度		平成 6 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			文化芸術振興基本法・社会教育法				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び文化をはぐくむまち	人・施策	5節 市民文化	中柱	1 市民文化の創造	小柱	(2)文化事業の充実・奨励
		H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 33 位		実施計画における位置づけ... H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>					

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	明治・大正期に活躍した郷土出身の歌人・三ヶ島霞子の文学活動や生活、時代背景などを広く伝え、市民が先人への理解を深めるとともに、ふるさと所沢を愛する心を育てることを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民		利用数の考え方		資料室入場者・講演会来場者・記念冊子購入者の総数		
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 19 年度	339,058	人
			平成 18 年度	498	人	平成 19 年度	519	人
	事業開始の背景	平成4年に三ヶ島霞子関係資料が遺族から本市に寄贈され、平成6年4月三ヶ島公民館の移転・大型化の際、同館内に「三ヶ島霞子資料室」を開設した。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	改善点	平成19年度中に改善した点	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		120	228	150
	決算(見込み含む)		120	228	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費	0.37 人	3,404	0.42 人	3,945
	公債費				
	事業費合計		3,524	4,173	
	財源内訳	一般財源	3,524	4,173	150
		国・県支出金			
		受益者負担金			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	資料室入場者数(来場簿記入者)	資料室に入場した記名者数	人	349	350	
		講演会来場者数	講演会の来場者数	人	90	80	
		冊子頒布の収入	記念冊子頒布に伴う収入(平成16年度発行)	円	29500	44500	
	成果分析	利用者数	資料室・講演会来場者数と冊子購入者	人	目標値 600	実績 498	519

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要性なし	市	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
		<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] 終了	資料の適切な保存管理	一部資料の展示替え及び収蔵庫内の温湿度調査を実施する。
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	リーフレットの新規作成	リーフレット新規作成のための作業を進める。
	評価理由		リーフレットの新規作成	平成21年3月
	評価理由	三ヶ島霞子は、「さいたま文学館」常設展示での紹介や埼玉県「彩の国の偉人」に選ばれるなど、明治・大正期に活躍した女流歌人として、本市を代表する人物である。最近では、大手新聞紙面での紹介も増えており、広く県内や県外の方からも注目されている。市民サークル「三ヶ島霞子の会」との連携も進み、市民と行政がともに三ヶ島霞子への理解を深める活動を続けている。資料室は、郷土の歌人に親しむ場として、また貴重な資料を後世へ伝える場として、さらなる充実が望まれており、今後も市民主体の運営が必要と考える。		

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	1242
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
	施策の方向	4地域に根付いた文化・スポーツの振興		